

国道47号余目酒田道路

「メダカ・マツカサガイひっこし大作戦」を実施します。

国土交通省では、国道47号余目酒田道路の事業を進めておりますが、このたび、地元の余目第二小学校の児童と一緒に「メダカ・マツカサガイひっこし大作戦」と称し、環境影響評価の中で環境保全措置を行う必要があるとされた「メダカ」、「マツカサガイ」の移設作業を下記のとおり実施しますので、お知らせいたします。

- ・ 余目第二小学校PTAでは、様々な体験活動（「めだかの学校」等）を実施しており、今回はその一環で「メダカ・マツカサガイひっこし大作戦」を実施することになりました。
- ・ 「メダカ」は平地の小川など流れが緩い場所に生息している全長約4cmの淡水魚、「マツカサガイ」は水のきれいな川などの砂、小石の底に生息している全長約6cmの二枚貝であり、環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）に掲載されています。

記

- 日 時：平成21年10月3日（土） 9：00～12：00
※悪天候や水路の水位が高い場合は中止する場合があります。
- 場 所：山形県東田川郡庄内町払田、常万地内
（集合場所：余目第二公民館）
- 参加者：庄内町立余目第二小学校児童、PTA、教職員
庄内町
最上川土地改良区
国土交通省酒田河川国道事務所

〈 発表記者会：酒田記者クラブ、鶴岡記者会、山形建設業界専門紙 〉

| お問い合わせ先 | | |
|----------------|-----------------------------|------------------------|
| 庄内町立余目第二小学校 | | |
| 教頭 | <small>しぶや</small> 渋谷 せつ | TEL:0234(43)2618 |
| 庄内町建設課 | | |
| 都市計画係長 | <small>そうま</small> 相馬 道哲 | TEL:0234(56)3384 |
| 国土交通省酒田河川国道事務所 | | |
| 副所長（道路担当） | <small>ほり</small> 堀 喜代志 | TEL:0234(27)3331 内線205 |

○ 余目酒田道路における環境影響評価について

環境影響評価とは、事業者が事業の実施による環境影響について自ら適正に調査・予測・評価を行い、その結果に基づいて環境保全措置を検討することなどにより、その事業計画を環境保全上望ましいものとしていく仕組みです。

余目酒田道路では、平成16年3月に環境影響評価を実施しており、その中で、水生生物の「メダカ」「マツカサガイ」については、影響が考えられる場合には専門家の意見を聞きながら、必要に応じて移設などの環境保全措置を行うこととなっていました。

そして、工事着手前の事前調査結果及び専門家の意見から、今回「メダカ」「マツカサガイ」の移設を実施することになりました。

○ 「メダカ」について

本州以南琉球列島まで分布している全長約4cmの淡水魚であり、雄の尻びれは大きくて平行四辺形に近く、雌の尻びれは幅がせまく後端ほど狭くなっています。平地の池沼、水田、河川の下流域の流れが緩いところなどで生息し、昼間は岸边に近い浅いところで、水面付近を群泳しています。

山形県内では、酒田市、庄内町等の庄内地方に比較的多く残存していますが、大量に生息している水域はありません。水田の圃場整備により用水路の多くが産卵に不可欠な水草が生育しないU字溝に変わり、個体数が少なくなっています。

○ 「マツカサガイ」について

北海道から九州の各地に分布している全長約6cmの卵形の二枚貝であり、殻表のさざ波模様が松かさ に似ています。水のきれいな河川や湖沼の砂、小石の底に殻を半分差し込み、群れをなして生息しています。タナゴの産卵に利用されるため、淡水魚の生存を維持する上で極めて重要な魚類です。

山形県内では酒田市、庄内町等で記録されていますが、生息数が減少しています。



メダカ



マツカサガイ